
情報漏えい対策 PC セキュリティシステム「ARCACLAVIS Rex V3.1」、
2010年4月5日より販売・出荷開始

コンサルティングからアプリケーション、ハードウェア、ネットワーク、保守運用までトータルサービスを提供するジャパンシステム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:阪口正坦、JASDAQ 上場:証券コード 9758、以下ジャパンシステム)は、2010年4月1日に株式会社ネット・タイムより事業譲渡された情報セキュリティ事業において、同年4月5日よりサーバ/クライアント型の情報漏えい対策 PC セキュリティシステム「ARCACLAVIS Rex(アルカクラヴィス レックス) V3.1」の販売・出荷を開始します。

「ARCACLAVIS Rex V3.1」は、「シングルサインオン」、「フォルダ/ドライブの暗号化」、「外部デバイスの制御」などの機能により、PCからの情報漏えい対策を行うシステムです。民間企業・公共団体にますます必要とされる情報セキュリティの向上を、強力に支援します。

なお、「ARCACLAVIS Rex V3.1」の追加機能および動作環境は添付資料をご参照ください。

「ARCACLAVIS Rex」について

「ARCACLAVIS Rex」は、IC カード認証・情報セキュリティの分野で 10 年を超える歴史を持つ「ARCACLAVIS」シリーズの製品であり、同シリーズは累計 90 万ライセンスを出荷し、販売以来常にトップシェアを誇る PC セキュリティシステムです。「国産・自社開発」にこだわり、多様な運用に対応する技術と実績、柔軟なカスタマイズ性を持つ製品です。

■ ARCACLAVIS Rex の特長

1. シングルサインオン

Web アプリケーションや Windows アプリケーションの認証画面が表示されると自動的に ID/パスワードを入力します。たくさんの ID/パスワードを一元管理でき、利便性も高まります。

2. 外部デバイス制御

ユーザ単位で USB メモリ、CD-R、プリンタなどの使用制御が可能です。「読み込みだけを許可する」ことや、「今だけ許可し、その記録を残す」ことで業務をストップすることなく、セキュリティ監査にも耐える環境をご提供します。

3. ドライブ、フォルダ、外部メディアの自動暗号/復号

ドライブ、フォルダ、外部メディアの自動暗号/復号ができます。ネットワーク上の共有フォルダにも対応しています。ノート PC・USB メモリの紛失・盗難による情報漏えいに効果を発揮します。

4. 一元管理

ユーザ情報は ARCACLAVIS Rex 管理サーバで一元管理が可能です。大量ユーザの登録・変更・削除にも「自動 CSV インポート機能」、「Active Directory 連携機能(オプション)」で自動化できるため、運用コストを削減できます。

5. IC カード認証システムへのグレードアップ

将来、IC カード社員・職員証を導入した場合、IC カードによる認証までも可能にする上位製品「ARCACLAVIS Revo」へ簡単にグレードアップができます。

6. ログ収集(オプション)

「いつ?」「誰が?」「どのパソコンで?」をログサーバに収集できます。万が一の場合に追跡が可能で、事故発生時の原因究明に活用できます。

ジャパンシステムについて

ジャパンシステムは、“Total Solution Provider For Innovation”をスローガンに、コンサルティングからアプリケーション、ハードウェア、ネットワーク、保守運用までをトータルで提供するシステム・インテグレータです。現在、公共・地方自治体、通信、金融分野を中心にサービスを提供しています。

<本リリースに関する問い合わせ>

ジャパンシステム株式会社 経営企画室マーケティング : 岡田、平村

TEL : 03-5309-0310 FAX : 03-5309-0312 E-mail : js_pr@ml.japan-systems.co.jp

<製品に関するお問い合わせ>

ジャパンシステム株式会社 第二ソリューション事業部 第四システム部

TEL : 03-5309-0320 FAX : 03-5309-0313 E-mail : security-sales@japan-systems.co.jp

参考資料

■ ARCACLAVIS Rex V3.1 の機能追加

<サーバ>

・新たに以下の OS に対応しました。

- ・Windows Server 2008 Standard/Enterprise SP1 (x64)
- ・Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise SP なし (x64)

※64 ビット版の OS では、WOW64 (Windows 32-bit On Windows 64-bit) による 32 ビットエミュレーションで動作します。

<クライアント>

・シングルサインオン機能が強化されました。

・Internet Explorer 8 のベーシック認証、Windows エクスプローラ、Windows メール、リモートデスクトップ接続で使われている「Windows セキュリティ」ダイアログに対応し、認証ウィンドウ情報の登録や自動認証に対応しました。

・クロスサイトが利用されているフォーム認証の認証ウィンドウ情報の登録や、自動認証に対応しました。

■ 動作環境

<サーバ>

OS	・Windows Server 2003 Standard/Enterprise SP なし/SP1/SP2 (x86) ・Windows Server 2003 R2 Standard/Enterprise SP なし/SP2 (x86) ・Windows Server 2008 Standard/Enterprise SP1 (x86/x64) ・Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise SP なし (x64) ※64 ビット版の OS では、WOW64 (Windows 32-bit On Windows 64-bit) による 32 ビットエミュレーションで動作します。
CPU/メモリ/ディスク	使用する OS の推奨動作環境以上の性能であること

<クライアント>

OS	・Windows XP Professional SP なし/SP1/SP2/SP3 (x86) ・Windows Vista Business/Enterprise/Ultimate SP なし/SP1/SP2 (x86) ・Windows 7 Professional/Enterprise/Ultimate SP なし (x86)
CPU/メモリ/ディスク	使用する OS の推奨動作環境以上の性能であること

※いずれも日本語版のみ対応